注:同じ9 ホールを2 回プレーする場合の18 ホールの $\mathbf{1}$ ースハンディキャップは、次の計算式で算出する:



## 6.1b 9ホールラウンドの場合

9 ホールのコースハンディキャップは、次の計算式で算出する:



(9 ホールラウンドのハンディキャップナンバー割り当てに関しては付属規則 E 参照。)

### 規則6.1bの解釈:

6.1b/1 - 9ホールのコースハンディキャップは、9ホールのコースレーティングとスロープレーティングを使用して算出する

**承認された協会がゴルフ倶楽部**に**コースレーティングとスロープレーティング**を発行する際、以下の例のように、18 ホールのレーティングとともにフロントナインとバックナインの**コースレーティング**と**スロープレーティング**も表示する。

	男子・白ティー		女子・白ティー	
	コース レーティング	スロープ レーティング	コース レーティング	スロープ レーティング
18ホール	73.1	132	75.5	138
1~9番ホール	36.1	132	37.3	135
10~18番ホール	37.0	131	38.2	141

9 ホールのコースハンディキャップの計算は、プレーする 9 ホールゴルフコースの正 しいコースレーティングとスロープレーティングを使用しなければならない。

注:算出された 18 ホールおよび 9 ホールの**コースハンディキャップ**は、以下を実施するために端数を四捨五入した整数で使用する:

- ホールスコアの上限 (規則 3.1)、およびプレーしなかったホール (規則 3.2) の調整適用
- スコアディファレンシャルの計算(必要に応じて)

上記の計算以外は、コースハンディキャップの算出値はすべて保たれ(端数処理せず)、四捨五入はプレーイングハンディキャップ換算後の1回のみとする。

## 6.2 プレーイングハンディキャップの計算

#### 6.2a 通常の計算

プレーイングハンディキャップは、次の計算式で算出する:

プレーイングHDCP コースHDCP X ハンディキャップアローワンス

算出されたプレーイングハンディキャップは、端数を四捨五入した整数で表示する。 推奨ハンディキャップアローワンスについては、付属規則 C を参照。

# 6.2b パーが異なる複数のティーを使用する競技の場合の計算

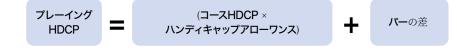
本規則では:

- ストロークプレーは、ネットスコア、グロススコア、または最大スコアのいずれかのプレー形式をいう。
- ステーブルフォードとパー / ボギー形式は、別に扱う。

2つ以上のティーを使用して競技をプレーする場合(性別や技量の異なるプレーヤーの混合競技の場合)、公平に順位、結果、入賞を決定するために、プレー形式やティー毎のパーの違いに応じて、通常のプレーイングハンディキャップ計算に追加のハンディキャップストロークを適用することができる。

(i) ストロークプレー形式とマッチプレー形式 (グロスまたはネットスコアで結果が記録 される場合):パーの大きいティーを使用するプレーヤーは、そのラウンドで、最も パーの小さいティーとのパーの差と等しいハンディキャップストロークを追加で受け なければならない。

この追加のハンディキャップストロークは、以下の通り、プレーヤーの**プレーイングハンディキャップ**に足す:



注:別の方法として、参加者の大部分が**パー**の大きいティーからプレーする場合は、**パー**の小さいティーを使用するプレーヤーがそのラウンドで受けるハンディキャップストロークから、**パー**の差と等しいストロークを差し引くことができる。

- (ii) ストロークプレー形式とマッチプレー形式 (対パー数値で結果が記録される場合): パーに対するそのラウンドのプレーヤーのネットステータス (またはグロスステータス) は直接相互に比較されるため、ティー毎のパーが異なる場合でも、通常のプレーイングハンディキャップ計算に追加するハンディキャップストロークはない。
- (iii) <u>ステーブルフォード形式</u>: そのラウンドの各プレーヤーの合計ステーブルフォードポイントは直接相互に比較されるため、ティー毎のパーが異なる場合でも、通常のプレーイングハンディキャップ計算に追加するハンディキャップストロークはない。
- (iv) パー/ボギー形式: そのラウンドのプレーヤーのパー/ボギー結果は、他のプレーヤー それぞれと直接比較されるため、ティー毎のパーが異なる場合でも、通常のプレーイ ングハンディキャップ計算に追加するハンディキャップストロークはない。

